

東京言語研究所 集中講義のご案内

東京言語研究所では、言語学を研究されている方や言語学に興味をお持ちの方を対象[理論言語学講座]をはじめとして様々な講座を開講しております。〈集中講義〉は、多様な研究の一領域を集中的に学べる講座です。ぜひご参加ください。

〈演題〉 「統語意味論」の試み

〈講師〉 上山あゆみ(九州大学教授)

〈日時〉 2023年9月9日(土) 13:30~18:00 (90分講義×3コマ)

10日(日) 10:30~16:15 (90分講義×3コマ)

〈講義形式〉 対面講義(先着20名)およびZOOMによるオンライン講義

〈参加費〉 一般 12,000円

2023年度理論言語学講座受講生 9,000円



〈申込み〉 ホームページ「[申込みフォーム](#)」もしくはQRコードからお申込ください。

※ 申込み受付期間 8月4日(金)10:00AM~9月4日(月)10:00AMまで

講師紹介:

九州大学大学院人文科学研究院 言語学講座教授。専門は日本語統語論、意味論。京都生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。南カリフォルニア大学博士号取得。京都外国語大学助教授、九州大学人文科学研究院助教授を経て、2014年より同大学教授。主要な刊行物に『統語意味論』(名古屋大学出版会、2015年)、『生成文法の考え方』(北川善久氏との共著、研究社、2004年)、『はじめての人の言語学』(くろしお出版、1991年)などがある。

○ 問合せ先

一般財団法人ラポ国際交流センター 東京言語研究所

〒169-0072 東京都新宿区大久保 1-3-21 ルーシッドスクエア新宿イースト 2階

TEL:03-6233-0631 FAX:03-6233-0633

E-mail:info@tokyo-gengo.gr.jp 公式サイト:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

生成文法も誕生から 60 年以上が過ぎ、その基本的な考え方は広く知られるようになってきました。しかし、「結局、何が明らかになったのか？」と問われた場合、どのような答えができるでしょうか。標準理論、GB 理論、ミニマリスト・アプローチと大きくモデルが変わってきたなかで、一体、何が生き残っているのか、簡単には答えられない状態になってしまっていないでしょうか。

私としては、これまでの生成文法研究において次の (i) と (ii) が十分でなかったために、このような状況が生まれたと考えています。

(i) 統語論のシステムがどのように動いているのか、具体的に述べられている。

(ii) 統語論の最終的な表示がどのように解釈されるのか、明示されている。

もちろん、細かいことにこだわり過ぎて前に進めないのは良くないですが、ある程度、(i) と (ii) がないことには、生成文法の成果を未来に引き継ぐことができないと思うのです。

上山 (2015) は、そのような思いから、(i) と (ii) を加味した生成文法の 1 つの姿を描こうとしたものです。明示的であろうとして、かなり読みにくい本になってしまいましたが、今回の集中講義では、そのエッセンスをなるべくわかりやすい形でお伝えできればと思っています。

参考：上山あゆみ (2015) 『統語意味論』，名古屋大学出版会。

(講義においては、この本をお持ちでなくてもわかるように説明するつもりです。)

<タイムスケジュール> (予定) ※時間配分は講義の進行によって前後する場合があります。

9月9日(土)

13:00 講義—1

14:30 講義—1 終了 休憩

14:45 講義—2

16:15 講義—2 終了 休憩

16:30 講義—3

18:00 講義—3 終了

9月10日(日)

10:30 講義—4

12:00 講義—4 終了 休憩 昼食

13:00 講義—5

14:30 講義—5 終了 休憩

14:45 講義—6

16:15 講義—6 終了